◆ごみゼロの日（5月30日）

5月30日の前後には、多くの自治会などでごみゼロ運動が行われています。市としては、それらの活動を支援するとともに、その日を子どもたちへの啓発活動日と位置づけ、親子などを対象にした「ごみゼロ大作戦」を行っています。

家族で参加している人が拾ってくれると何だかごみも家族の一員になったみたいだね。それに最後にはちゃんと分別もしてくれるので、仲間たちもよろこんでいたよ。

また、犬のフンもたくさんあったけど、それは飼い主の人が、ちゃんと持って帰らないとね。

ごみゼロ（長浜市）	H17	H18	H19
参加者	100人	150人	90人
可燃ごみ	20kg	200kg	30kg
不燃ごみ	10kg	450kg	20kg

◆びわ湖の日（7月1日）

びわ湖の日は、平成8年に滋賀県環境基本条例で7月1日と定められました。その日になったのは「石けん条例」が、昭和55年7月1日に施行されたことなどが理由だそうです。市でも琵琶湖の環境保全のために、多くの団体や企業・事業所のみなさんとともに、毎年、琵琶湖岸の清掃活動を行っています。

僕たちポイ捨てごみは、コロコロ旅のほかに、ぷかぷか旅にも出かけます。

だから、道端だけでなく琵琶湖岸にもたくさんいるんだよ。それにこの頃は、釣り糸のポイ捨てが結構見られるから、注意しないと危ないよ。

びわ湖の日（長浜市）	H17	H18	H19
参加者	940人	1,250人	1,379人
可燃ごみ	890kg	1,470kg	1,420kg
不燃ごみ	1,110kg	1,700kg	1,770kg

◆環境美化の日（12月1日）

12月1日は「クリーン条例（滋賀県ごみの散乱防止に関する条例）」で、ごみの散乱防止への関心と理解を深めるために「環境美化の日」と定められています。そこで市では、多くの市民のみなさんにポイ捨てごみへの関心を持ってもらい、清掃活動に取り組んでいただくため、自治会単位での活動をお願いしています。

昨年は、55自治会、2193人の協力のもと、18トンものごみを回収することができました。

それにしてもたくさんの人がいろんな形で僕たちを回収してくれているんだな。このほかにも自宅のまわりや、近所の公園などを掃除してくれている人も見かけるけど、みんながそうやってすすんでやってくれるとうれしいな。そうすると僕たちが少なくなって、まちがきれいになるからね。

また、市が管理する道路や河川、公園などを継続して、ボランティアで清掃する市民団体や事業所を支援する「長浜市エコフォスター事業」も行っているようだね。この事業は、平成14年度から始まり、今年で6年目。現在は、6団体が活動されているようだよ。

市では、いろんな取り組みをされているけど、市民のみなさんの協力がないとなかなかできないみたいだね。ところで、市民のみなさんはどんな気持ちで活動されているのかな。ちょっとお話を聞きに行ってみよう。

市ではその他にも僕たちの仲間が増えないように、依頼があった自治会等に啓発用の看板を配布しているよ。昨年度は「ポイ捨て禁止看板」を53枚配布したようだから、みなさんの近所にも立っているかもね。看板を見かけたら、僕のことを思い出して、ポイ捨てをせず、犬のフンもしっかり家まで持ち帰ってね。

開園時からエコフォスター事業に取り組まれているチャイルドハウス

◆環境を大切にする心を育てたい

―どんな活動をされているんですか？

毎月1回「ごみ拾いするデー」を決めて、3歳以上の園児約100人が、さいかち浜までごみを拾って歩きます。また、夏休みには、親子でごみ拾いも行っています。

―どんな思いで活動をされているんですか？

子どもたちが「ごみは出さないようにしよう」という気持ちを持ち続け、そこから環境保全の輪が広がっていくことを願いながら、子どもたちとごみ拾いを続けています。

これからも子どもたちに僕たちのようなごみを出さないよう、しっかり伝えてくださいね。

かわいらしい軍手をはめて、さいかち浜でごみ拾いをするチャイルドハウスの園児たち

清掃ボランティアを続けられている長浜たばこ商業協同組合

◆マナーを守って美しいまちに

長浜たばこ商業協同組合
理事長　山口泰宏さん

―清掃活動を続けていて何か気がつかれたことは？

最近はタバコの吸い殻よりもほかのごみの方が多くなってきた感じがします。それに、ごみは以前より人目につかないところに捨てられていますね。

―ポイ捨てをなくすポイントは何だと思われますか？

市民一人ひとりがしっかりとマナーを守ることが重要だと思います。また、マナーを守らない人にちゃんと注意ができる人や仕組みをつくることも必要ではないでしょうか。

みんながマナーアップに心がけ、守らない人には、イエローカードを出せるようにならないといけないのかな。

花火大会後に湖岸清掃を続けている長浜西中学校生徒会

◆花火とごみはセットで持ち帰り

長浜西中生徒会　須川忠輝くん(右)、今居栞さん(左)

―今年の活動への思いを聞かせてください。

今年は昨年より参加者が増え、358人もの生徒が参加してくれるので、昨年より広い範囲をきれいにしたいです。（今居）

―市民のみなさんにひと言お願いします。

中学生がこういうことを一所懸命やっていることを知ってほしいし、多くの市民のみなさんと一緒に活動がしたいので、ぜひご参加をお願いします。（須川）

花火大会に直接関係のない中学生たちが、翌日の早朝から花火の見物客が忘れていったごみを回収してくれます。本当に頭がさがります。市民のみなさんも、ぜひ一緒に参加されてはいかがでしょうか。

でもその前に、持ってきたものは必ず持って帰ることの方が大切かな。

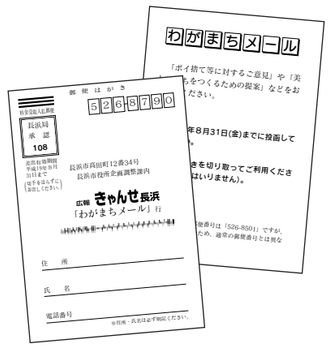
提案やご意見を募集

市では、「ポイ捨ておよびふん害に関する条例」に基づいて、さまざまな取り組みや対応をされてきたようだけど、新たに出てきた問題などに対応するため、現在その条例の見直しを始められているみたいだよ。

今回の見直しでは、路上喫煙やつばの吐き捨て、落書きなどに対する意見が市民のみなさんから寄せられているので、それらも検討されているようだよ。

美しいまちをつくっていくために、市は、市民は何をすればいいのか、どんなことに気をつければいいのかなど、みなさんのご意見をお聞かせください。

僕たちのようなポイ捨てごみが、道端からいなくなり、美しいまちへと変わるために。



お問合せは、環境保全課（☎65）6513）へ。